シチズン 耳式体温計 CT820

取扱説明書　保証書付

もくじ

安全上の注意……………………………2
特長……………………………………3
各部の名称……………………………4
体温の正しい測り方…………………5
使用方法………………………………7
電池交換の方法………………………9
お手入れと保管方法…………………11
仕様……………………………………13
修理・サービスを依頼する前に……14
保証規定………………………………15
保証書…………………………………16

ご使用の前にかならずお読みになり、いつでも見られるところに保管してください。

シチズン・システムズ株式会社

安全上の注意

⚠ 警　告

- 本機は、通常の操作に従って耳に挿入したとき、鼓膜や耳の中を傷つけることが無いよう十分に配慮して設計されておりますが、耳に挿入する際には十分慎重にお取り扱いください。
- 外耳に炎症等がある場合、本機のご使用はお控えください。感染や症状の悪化の原因となります。
- 耳式体温計は、プローブの挿入方法、耳垢の溜まり具合等により、測定誤差を生じる場合があります。おかしいと感じたときは、本機の測定結果のみに頼らず、必ず医師にご相談ください。
- プローブ窓が割れるなど本体が破損した場合、使用しないでください。けがの原因、測定値の異常、故障の原因となります。また、プローブ窓が割れた場合、破片はすぐに処分してください。尚、万一飲み込んだ場合、ただちに医師にご相談ください。

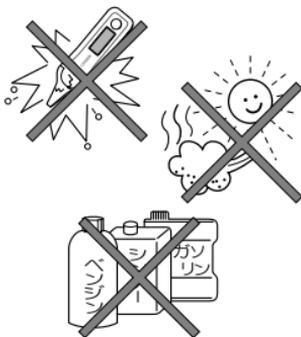
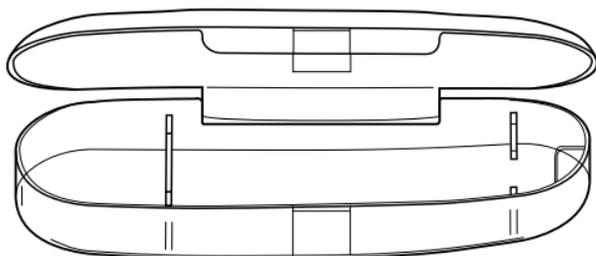
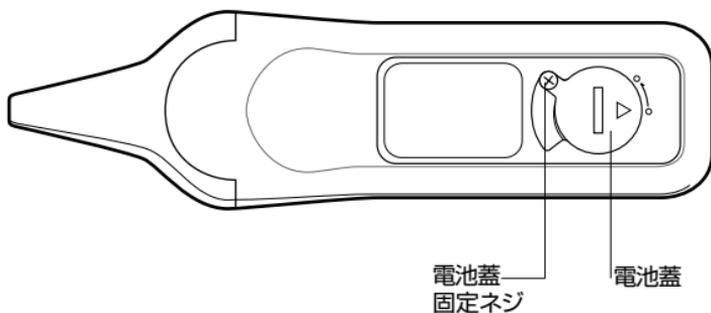
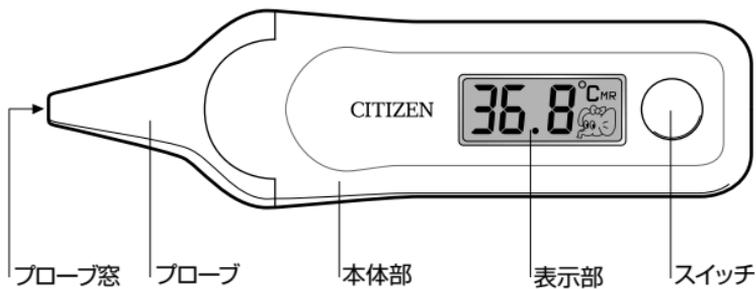
⚠ 注　意

- 耳と腋の下で測定した体温は測定する部位が違うため、検温結果が違う場合があります。単純に比較せずに、耳で定期的に検温し、平常時の検温値と比較してください。
- プローブの窓をいつもきれいにしてください。
- 耳内温度以外の温度測定目的には使用しないでください。風呂のお湯や冷蔵庫の温度等の測定に使用しますと故障の原因となります。
- 耳内検温以外の目的には使用しないでください。また、人間以外の動物の測定には使用しないでください。けがや故障の原因となります。
- 本体に水をかけないでください。故障の原因となります。
- 修理・改造・分解は絶対行わないでください。事故や故障の原因となります。

特　長

- ▶ 約2秒で測定できる耳で測る体温計です。
- ▶ 2つのセンサーの働きにより、室内の温度変化に影響されにくく、より正確に測定できます。
- ▶ 体温表示は、読みやすい大きなデジタル表示です。
- ▶ 検温精度は、±0.1℃の高精度です。（13ページの「仕様」をご参照ください。）
- ▶ 長さ131mm、重さ約45gと小型・軽量です。
- ▶ 電池（LR44相当品）1個で約3,000回測定できます。
- ▶ プローブの方向を確認し易いストレート形状の採用で正確で安定した測定ができます。
- ▶ プローブカバーが不要であり、経済的にご使用になれます。
- ▶ 電源を切り忘れても、約1分後に自動的に電源が切れる省エネ設計です。
- ▶ 電池残量がなくなるとお知らせする電圧検出機能を備えています。
- ▶ 検温が終了するとお知らせする検温ブザーがついています。
- ▶ 前回の測定値を自動記憶する“前回の測定値記憶機能”を備えています。
- ▶ 本機は、安全性の高い抗菌樹脂を使用しています。抗菌樹脂の使用により、付着した雑菌の繁殖を抑制します。
- ▶ 先端のプローブ部は水洗いができるので衛生的にご使用になれます。

＜お願い＞

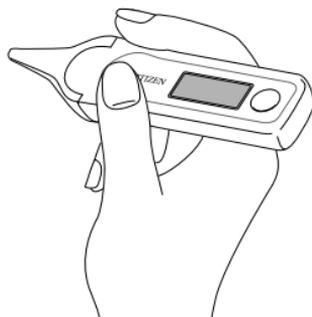
- ● 落としたり、強いショックを与えないでください。故障の原因となります。
- ● 高温や直射日光の当たるところ、湿気の多いところなどに保管しないでください。故障の原因となります。
- ● 汚れは、中性洗剤をしみ込ませた布で軽く拭いてください。シンナー、ガソリンやベンジンなどは、変質や故障の原因となりますので使用しないでください。

各部の名称

収納ケース

体温の正しい測り方

1. 耳式体温計の基礎知識

すべての物体からは熱放射が出射されています。本機は、プローブに組み込まれている赤外線センサーで、鼓膜およびその周辺からの熱放射を検出して体温を測定しています。一般的に耳の穴は図1）のように曲がりくねっています。図2）のように耳を持ち、斜め後ろに、または、後ろに軽く引くと耳の穴はまっすぐになります。個人差がありますので、測定前に必ず確認してください。正確に測定するためには、耳の穴をまっすぐにして図3）のようにプローブの先端を耳の奥にまっすぐ向けることが大切です。

2. 本体の正しい持ち方

図のように体温計を持ち、耳に挿入してください。

3. 体温測定の前に

測定前に下記の注意事項をよくお読みになり、正確な体温測定にお役立てください。

- プローブ窓が汚れている場合、正確に測定することができません。使用前にプローブ窓が汚れていないことを確認してください。また、汚れている場合は、水洗い、もしくは、ウェットティッシュ等を用いて清掃し、良く水気を拭き取ってから約5分たってから、ご使用ください。
- 耳の内部構造は必ず左右が同じ形状ではありません。そのため、人によっては左耳と右耳で測定結果に若干差が出る場合があります。体温を測るときは、できるだけいつも同じ耳で検温してください。
- 耳の穴に耳垢などの汚れがある場合、正確な測定ができない場合があります。その場合には、測定前に耳の清掃をしてください。
- 耳の穴の奥に毛が生えている人は、実際よりも低く測定される場合があります。
- スポーツ、運動、入浴、食事のあとは、体温が高くなっていますので、約30分間は検温を避けてください。
- 体温は、時間帯、気温、睡眠などの状態により常に変動しています。また、個人差、性別、年令によっても違います。あらかじめ常に体温を測定し、自分の平常時の検温値を知ることが大切です。
- 使用時はあらかじめ使用される環境温度になじませてからご使用ください。

使用方法

1. 測定のしかた

1) 収納ケースから体温計を取り出し、プローブ窓がきれいな状態であるか確認してください。

2) スイッチを押します。「ピッ」とブザーが鳴り、88.8℃MR と表示されます。

3) 続いて前回の測定結果を1秒間表示します。

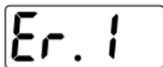
4) その後、.0℃ を点灯しながら マークが点滅します。この表示が検温開始の合図です。この表示を確認してからプローブを耳に挿入してください。

5) 耳をつまんで斜め後方、または、後方に軽く引いて耳の穴をまっすぐにします。

6) 耳の穴の方向を確認してから、プローブ先端を耳内の奥に向け、力を入れずにゆっくり、やさしくプローブを耳の穴に挿入してください。幼児を測定する際、耳の穴にプローブが入らないので、プローブで耳の穴をふさぐようにゆっくり、やさしくプローブを耳にあててください。測定中は、測定者の頭を動かさないように注意してください。

7) 測定時間は約2秒です。「ピッピッ」とブザー音が鳴ったら検温終了です。耳から取り出して表示部の測定値を読みとります。測定結果を表示しているとき、 マークは点灯しています。

※ 周囲の温度が35℃以上ある場合、測定値が点滅表示します。8ページの「周囲の温度が35℃以上の場合」をご参照ください。

8) 正常に検温できなかった場合、「ピーッ」とブザー音が鳴り、エラー表示を表示します。14ページの「エラー表示について」をご確認の上、正しい方法で測り直してください。

9) 検温が終わりましたらスイッチを押してください。電源が切れます。スイッチを押し忘れても、約1分で自動的に電源が切れます。

◉周囲の温度が35℃以上の場合

1）周囲の温度を測定しないようにするため、スイッチを3秒以上押し続けます。このとき、表示は 88.8℃MR を表示します。
2）プローブを耳に挿入します。
3）スイッチを離してください。スイッチを離すと同時に測定が開始されます。
※スイッチが3秒以上押されていない状態でスイッチを離すと測定結果が点滅表示します。
※スイッチを3秒以上押していても、プローブを耳に挿入する前にスイッチを離してしまうと、体温ではなく周囲の温度を測定する場合があります。

⚠ 注意

- 耳と脇の下で測定した体温は測定する部位が違うため、検温結果が違う場合があります。単純に比較せずに耳で定期的に検温し、平常時の検温値と比較してください。
- 幼児には、自分一人で測定させず、必ず、保護者が測定してください。けがの原因となります。
- プローブ窓に直接手で触れないでください。測定値の異常や故障の原因となります。
- プローブを耳に挿入している間は、測定者の頭を動かさないよう十分ご注意ください。
- プローブを耳に挿入する際は、鼓膜や外耳道を痛めないよう十分に注意してください。また、プローブを強く耳に押しつけるとけがの原因となりますので、十分に注意してください。

2. 前回の測定値の呼び出しかた

体温計の電源が切れた状態で、スイッチを押すと全点灯表示の後、約1秒間前回の測定値を表示します。このときMRマークも一緒に表示されます。

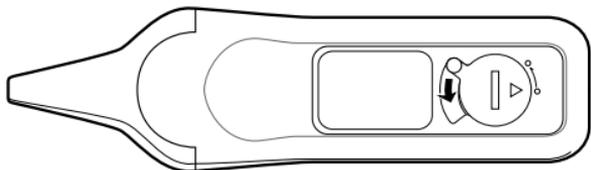
36.7℃MR

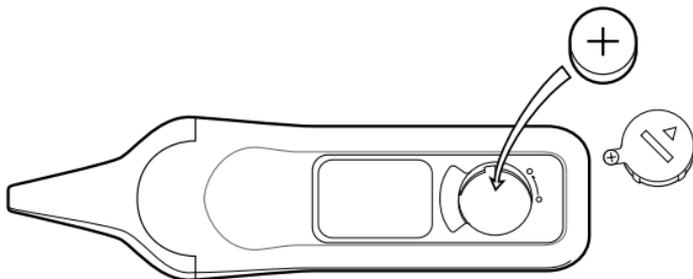
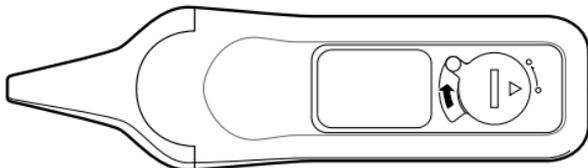
電池交換の方法

1）スイッチをONにして ⊏⊐ の表示が点灯したら、下記の手順にしたがって、新しい電池と交換してください。電池は電気店・時計店でLR44をお買い求めください。

2）電池交換の手順

① プラスドライバーを使用して、体温計本体の裏側にある電池蓋固定ネジをゆるめ、ネジを外します。

② コインを使用して、電池蓋を矢印の方向に、電池蓋の三角マークが本体の上側の○マークの位置まで回しロックを外します。

③ 電池蓋を外し、古い電池を取り出します。ピンセット等の金属類は使わないでください。

④ 電池の（＋）側を上にして電池収納部にセットしてください。

⑤ 電池蓋の三角マークが本体の上側の ○ マークの位置に合うようにセットし、コインを使用して電池蓋を矢印とは反対方向に、電池蓋の三角マークが本体の下側の○マークの位置まで回し、しっかりとロックしてください。

⑥ プラスドライバーを使用して、電池蓋固定ネジを固定してください。

※ 電池を入れたとき、誤表示やスイッチを押しても何も表示されないことがあります。この場合、もう一度電池を入れ直してください。

⚠ 注意

- 電池交換の際、電池、電池蓋、電池蓋固定ネジ等は幼児の手の届かないところに置いて、無くさないよう注意してください。誤飲の原因となります。万一飲み込んだ場合、ただちに医師に相談してください。
- 電池交換の際は、電池、電池蓋、電池バネ等でけがをしないよう十分注意してください。
- ご使用済みの電池は、環境保護のため正しく処分してください。
- 新しい電池を本体に収納する際は、電池の(+)と(−)側を注意して入れてください。間違って挿入すると故障の原因となります。
- 長時間使用しない場合、電池は取り外して保管してください。消耗した電池を本体に入れた状態で長時間放置すると故障の原因となります。
- 本機にあらかじめ装着された電池はモニター用ですので、電池寿命期間内に残量が無くなることがあります。

お手入れと保管方法

本体のお手入れと保管方法

- 使用後は、ティッシュやウェットティッシュで本体、プローブ、プローブ窓の汚れを拭き取り、さらにシミにならないように乾いた布で水気を拭き取ってから収納ケースに入れて保管してください。プローブ窓に付着した汚れをそのまま放置すると、正しく測定できなくなります。また、故障の原因となります。
- 5〜35℃の温度で保管すると体温計は直ちに検温できます。それ以外の環境温度で保管された場合、すぐに測定できず Er.4 が表示される場合があります。この場合、5〜35℃の温度に約10分程置いてから測定してください。

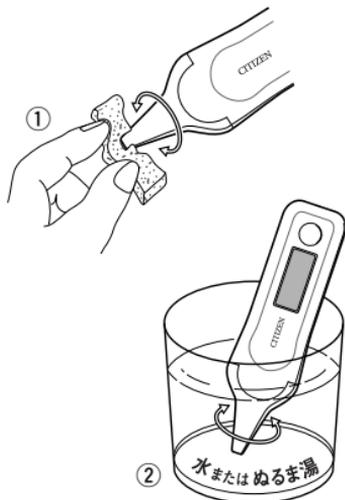
保管場所については次の事項を十分ご注意ください

- 本体に汚れや水気が付着した状態で保管することは避けてください。故障の原因となります。
- 本体、収納ケースを子供の手の届くところには保管しないでください。
- 本体を保存環境範囲外では保管しないでください。故障の原因となります。
  ※参考（保存温度：−20〜50℃〔相対湿度：15〜95%〕）
- 水のかかる場所、直射日光のあたる場所、高温多湿になる場所、ホコリの多い場所では保管しないでください。
- 火の近くを避け、振動、衝撃（運搬時を含む）を受ける場所に保管しないでください。
- 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

プローブ窓の乾拭きのしかた

先端のプローブ部が汚れていると検温精度に影響を及ぼします。測定後にプローブ窓を確認し、必ずきれいな状態で保管してください。

① ティッシュ、またはウェットティッシュをプローブに押し当て、擦るようにして汚れを落としてください。
② プローブ窓に水気が残る場合、必ず拭き取ってください。

プローブ窓の水洗いのしかた

先端のプローブ部は防水構造となっており水洗いすることができます。汚れが付着した場合などは、そのまま放置せず水洗いで汚れを落としてください。

① 中性洗剤を浸し込ませたやわらかいスポンジで軽く拭くようにしてプローブとプローブ窓の汚れを落としてください。本体部は濡らさないよう十分注意してください。本体に水が入り故障の原因となります。

② 水、またはぬるま湯を入れたコップに先端のプローブ部のみ浸し、洗剤と汚れを洗い落としてください。

③ 最後にきれいな柔らかい布を用いて、必ず水滴を拭き取ってください。

⚠ 注意

- お手入れ後は、水気をよく拭き取り約5分以上たってからご使用ください。
- 歯ブラシ、硬いスポンジ、金属たわし、クレンザー等は故障の原因となりますので使用しないでください。
- 水滴を拭き取らずにそのまま放置しますと、プローブ窓に曇りが付き、測定に影響を及ぼす場合があります。必ず、柔らかい布を用いて水滴を拭き取ってください。
- 直接、水道の蛇口から強い水流を本体にかけないでください。故障の原因となります。
- 消毒用アルコール等に浸さないでください。故障の原因となります。
- シンナー、ガソリン、ベンジン等は故障の原因となりますので使用しないでください。

仕　様

販売名――――――シチズン 耳式体温計　CT820

定格及び電源―――DC1.5V ⎓（⎓ 直流）アルカリボタン型電池 LR44相当　1個

消費電力―――――3mW

電池寿命―――――連続使用　3,000回以上（環境温度23℃にて）

体温表示―――――数字3桁・℃、表示単位0.1℃

検温精度―――――±0.1℃　36.0≦T≦39.0℃

±0.2℃　T＜36.0℃、T＞39.0℃

（環境温度23℃にて耳内黒体炉を使用）

測定温度範囲―――32.0～42.0℃

質量 ―――――――約45g（電池を含む）

外形寸法―――――約37（幅）×131（長さ）×25（厚さ）mm

機能 ―――――――ブザー付き、前回の測定値記憶機能付き、オートパワーオフ他

電撃保護 ――――――内部電源機器 🯅（🯅：B形装着部）

使用環境―――――周囲温度：　5～40℃／相対湿度：15～95%

保存環境―――――周囲温度：－20～50℃／相対湿度：15～95%

抗菌樹脂―――――本体部、プローブ、スイッチ、電池蓋

付属品――――――収納ケース、保証書付き取扱説明書

※本製品はEMC規格 IEC60601-1-2:2001に適合しています。 EMC適合

※本製品、及び取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの市区町村の方法に従って処理してください。

製造販売元　**シチズン・システムズ株式会社**

医療機器承認番号：21100BZY00194000
（管理医療機器）

修理・サービスを依頼する前に

エラー表示について

エラー1	Er. 1	測定開始から30秒間に体温を安定的に検出できなかった場合に表示されます。スイッチを押した後、速やかに耳に挿入してください。
エラー2	Er.2	体温計を耳に入れた状態でスイッチが押された時に表示されます。検温する時は必ず先にスイッチを押して、表示 .0℃ を確認した後、耳へ挿入してください。
エラー3	Er.3	検温温度が42℃以上の時に表示されます。周囲の高温物体を測定している場合があります。周囲の高温物体を避けて、もう一度測定してください。
エラー4	Er.4	周囲温度が測定範囲外（5℃未満、40℃超）の時表示されます。測定可能な周囲温度（5℃以上、40℃以下）へ移動し、10分以上放置した後、もう一度測定してください。
電池切れ	▭	電池切れマークが点灯するとき、または、スイッチを押しても何も表示されないときは新しい電池に交換してください。

修理・サービスを出される前に、次の点を調べてください。

こんなとき	確認するところ	直し方
スイッチを押しても何も表示されない	電池が正しく入っていますか？	電池を正しく入れ直してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池に交換してください。
体温が正しく検知できない（検温表示が低めに出る）	正しい測り方で測定していますか？	5ページの「体温の正しい測り方」をよくご覧になり、耳の穴をまっすぐにしてから耳の穴の奥に向けて体温計をゆっくり、やさしく入れて測定してください。
	プローブが汚れていませんか？	6ページの「体温測定の前に」を確認して、プローブと窓をきれいに清掃してください。
	耳垢がたまっていませんか？	耳の掃除を行ってから、もう一度測定してください。
	窓が破損していませんか？	修理を依頼してください。
測定値が異常	測定結果が32.0～42.0℃以外の数字を表示していますか？	電池を入れ直してください。
測定値が点滅表示している	周囲の温度は35℃以下ですか？	周囲の温度が35℃以上の場合、8ページの「周囲の温度が35℃以上の場合」を確認して、もう一度測定してください。

◆ お買い上げ店にお持ちくださるか、

シチズン・システムズ株式会社

お客様相談室

にお問い合わせください。

商品に関するご相談、お問い合わせは、
弊社お客様相談室でお受けいたします。
受付時間：10～17時
月～金（祝祭日、年末年始を除く）
フリーコール 0120-88-6295
通話料金は無料です。

E-mail:support@systems.citizen.co.jp
http://www.citizen-systems.co.jp

保証規定

つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。

① 誤ったご使用または取扱いによる故障または損傷。

② 保管上の不備によるもの、およびご使用者の責に帰すと認められる故障または損傷。

③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定以外の電源およびその他の天災地変や衝撃などによる故障または損傷。

④ 保証書のご提示がない場合。

⑤ 保証書にご購入日、ご購入店などの記載の不備な場合あるいは字句を書き換えられた場合。

⑥ ご使用後の外装面のキズ、破損、外装部品、附属品の交換。

※ お買い上げの販売店または弊社にご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。

- **保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。**
- **本保証書は日本国内においてのみ有効です。** This warranty is valid only in Japan.

製造販売元 **シチズン・システムズ株式会社**
〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12
Tel. 042-468-4607

▶ **販売店様へお願い：** 保証期限などの記載事項を必ずお確かめください。

検査証：本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

保 証 書

持 込 修 理

このたびは、**シチズン 耳式体温計**をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。この製品が、取扱説明書にもとづく通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じました場合は、本保証書を現品に添えてお買上げの販売店または弊社にご持参くだされば、保証期間内に限り無料にて修理・調整させていただきます。お客様にご記入いただきました本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

販 売 名	**シチズン 耳式体温計　CT820**	
お 客 様 お 名 前	様	TEL.　　-　　-
ご 住 所　〒		
ご購入日	年　　月　　日	
ご購入店	（ご購入店を必ずご捺印下さい）	
保証期間	ご購入日より1年間	

製造販売元 **シチズン・システムズ株式会社**
〒188-8511 東京都西東京市田無町6-1-12
Tel. 042-468-4607

0702